

木曾町における観光客の動向に関する調査・研究(Ⅱ)

鈴木 尚通・葛西 和廣・田中 正敏・
成 蒼政・佐藤 進

Study on Activities of Visitors to Kiso District Based on a Survey in 2011

SUZUKI Naomichi, KASAI Kazuhiro, TANAKA Masatoshi,

SUNG Kijung and SATO Susumu

要 旨

2011年度も、前年度同様10月下旬に、木曾福島地区、開田高原、道の駅日義木曾駒高原の3調査地点で、観光客に対し木曾地域の魅力を探るためにアンケート調査を行った。今年度は、天候が小雨交じりで、気温も低かったこともあり、開田高原で記入していただいたアンケート票は、前年度よりも36票減少した。一方木曾福島地区では、調査員の人数を増やしたこともあって、前年度よりも25票増加した。また、道の駅日義木曾駒高原では、100票で前年度(101票)とほとんど変わらなかった。この変化は、特に今回の旅行で「訪れた(または)訪れる予定の)場所」の集計結果に、「御嶽山とその周辺」、「宿場町」、「道の駅」を訪れる人の減少、そして「木曾福島地区の観光スポット」を訪れた人の増加として現れている。

キーワード

木曾 自然の風景と食 宿場町

目 次

1. 序
 2. 調査結果の分析
 - 2-1 来訪者の年齢層
 - 2-2 旅行日程と主な立ち寄り先
 - 2-3 現在地における滞留予定時間と旅行相手
 - 2-4 主な交通手段と権兵衛トンネルの利用度
 - 2-5 現在地への来訪回数と来訪目的
 - 2-6 今回の旅行で訪れた、または訪れる予定の場所
 - 2-7 情報収集の方法と求める地域情報
 - 2-8 旅行予算とお土産代
 - 2-9 お土産として購入したものと探しているもの
 - 2-10 おいしかったもの
 - 2-11 木曾路の印象
 3. 結
- 謝辞
付録. 2011年度アンケート票

1. 序

木曾町における観光客に対するアンケート調査は10月30日(日)の11時頃から15時半頃まで、前回と同様に木曾福島地区(山村代官屋敷、足湯、上の段の街並み)、開田高原アイスクリーム工房前、及び道の駅日義木曾駒高原で行った。当日の天候は曇り時々小雨で肌寒く、調査時間帯の気温は木曾福島地区では10.7℃～11.8℃、開田高原では8.8℃～9.1℃であった。

アンケートに答えてくださった方(来訪者)は、木曾福島地区56人(足湯13人、上の段の街並み28人、代官屋敷15人)、開田高原72人、道の駅日義木曾駒高原100人、合計228人であった。前年(2011年)よりも、木曾福島地区では25人増加し、開田高原では35人減少し、道の駅日義木曾駒高原では横ばいであった。

来訪者の性別は男性107人(46.9%)、女性117人(51.3%)、未記入4人(1.7%)であった。来訪者の居住県は、長野県81人、愛知県66人、岐阜県23人、静岡県5人、その他(都道府県)52人、未記入1人であった。

長野県からの来訪者76人の中で、居住市町村名を記入された方は、松本市12人、伊那市10人、木曾町7人(木曾町福島、把の沢(開田高原)各1人を含む)、塩尻市4人、安曇野市3人、木祖村3人、駒ヶ根市3人、箕輪町2人、飯田市1人、上田市1人、大桑村1人、大町市1人、上伊那郡1人、小諸市1人、佐久市1人、辰野町1人、中川村1人、長野市1人、南箕輪村1人、宮田村1人、山形村1人の合計57人であった。

その他都道府県は52人中49人の方が居住都道府県を記入されていて、その内訳は、滋賀県8人、東京都7人、大阪府5人、千葉県5人、山梨県5人、三重県4人、埼玉県3人、神奈川県2人、京都府2人、兵庫県2人、広島県2人、愛媛県1人、高知県1人、富山県1人、奈良県1人であった。

以下では228票の回答を、居住地未記入の1票を除き、長野県内(81人)、長野県近隣の3県(愛知県66人、岐阜県23人、静岡県5人、合計94人)とその他都道府県(52人)に分けて集計した結果を主として報告する。

2. 調査結果の分析

来訪者の性別は、長野県では81人の中で、男性34人(42.0%)、女性45人(55.6%)、未記入2人(2.5%)、愛知他2県では94人中、男性46人(48.9%)、女性46人(48.9%)、未記入2人(2.1%)、その他都道府県56人の内訳は男性26人(5.0%)、女性26人(50.0%)であった。

2-1 来訪者の年齢層

図1に年齢層別の集計結果を示す。来訪者の最も多い年齢層は、長野県では60歳代が23.5%(19人)、愛知他2県では50歳代が22.3%(21人)、その他(都道府県)では40歳代と60歳代がともに23.1%(12人)であった。50歳以上の来訪者を比較すると、長野県48.1%(39人)、愛知他2県54.2%(51人)、その他都道府県55.7%(29人)で、長野県の比率が愛知他2県、その他都道府県よりも若干低くなっている。一方、30歳代以下(40歳未満)では、長野県32.1%(26人)、愛知他2県23.4%(22人)、その他都道府県19.2%(11人)と長野県の比率が愛

知他2県よりも約9ポイント、その他都道府県よりも約13ポイント高くなっている。天候が県外からの若年層の行動に影響を及ぼしている可能性がある。

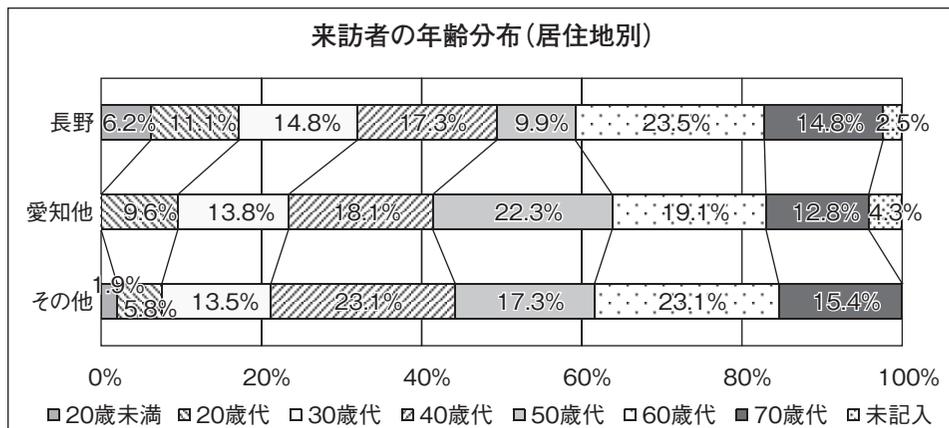


図1. 来訪者の年齢層

2-2 旅行日程と主な立ち寄り先

調査日の前日9月29日(土)には木曽町で関所祭りが開催された。そのお祭りに「参加したか」も尋ねてみた。長野県からの来訪者は、はい(参加した)7.4%(6人)、いいえ77.8%(63人)、未記入14.8%(12人)であった。愛知他2県は、はい5.3%(5人)、いいえ81.9%(77人)、未記入12.8%(12人)であった。その他都道府県は、はい3.8%(2人)、いいえ88.5%(46人)、未記入7.7%(4人)であった。

来訪者の旅行日程を図2に示す。長野県からの来訪者は、日帰り63.0%(51人)、1泊2日2.5%(2人)、未記入34.6%(28人)であった。

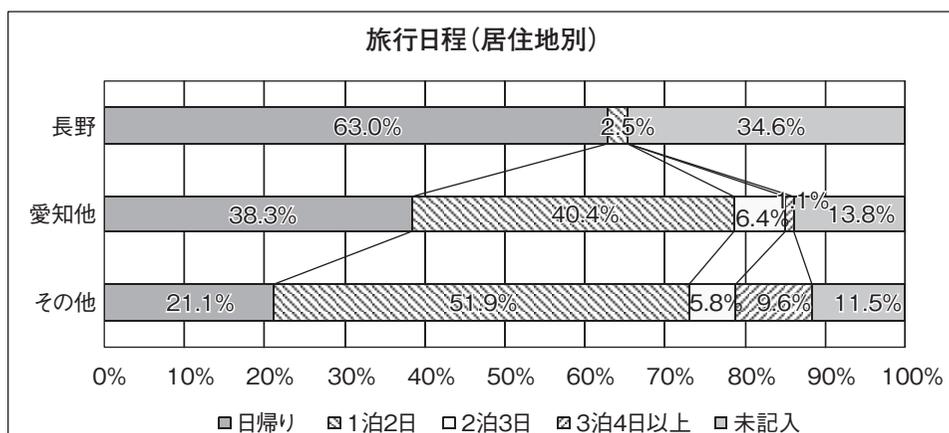


図2. 来訪者の旅行日程

愛知他2県は、日帰り38.3% (36人)、1泊2日40.4% (38人)、2泊3日6.4% (6人)、3泊4日1.1% (1人)、未記入13.8% (13人)で、宿泊を伴う人は47.8% (45人)であった。

その他都道府県からは、日帰り21.2% (11人)、1泊2日51.9% (27人)、2泊3日5.8% (3人)、3泊4日以上が9.6% (5人)と、宿泊を伴う人は73.1% (38人)、2泊3日以上の方は15.4% (8人)を占めている。

長野県から居住地域が遠くなるにつれて宿泊をする比率が高くなっている。

今日 (2011年10月30日 (日))は旅行日程の何日目かという問に対する答えを図3aに示す。長野県は1日目37.0% (30人)、未記入63.0% (51人)であった。愛知他2県は1日目23.4% (22人)、2日目34.0% (38人)、3日目6.4% (6人)、未記入36.2% (34人)であった。その他都道府県は1日目32.7% (17人)、2日目34.6% (18人)、4日以上3.8% (2人)、未記入28.8% (13人)であった。

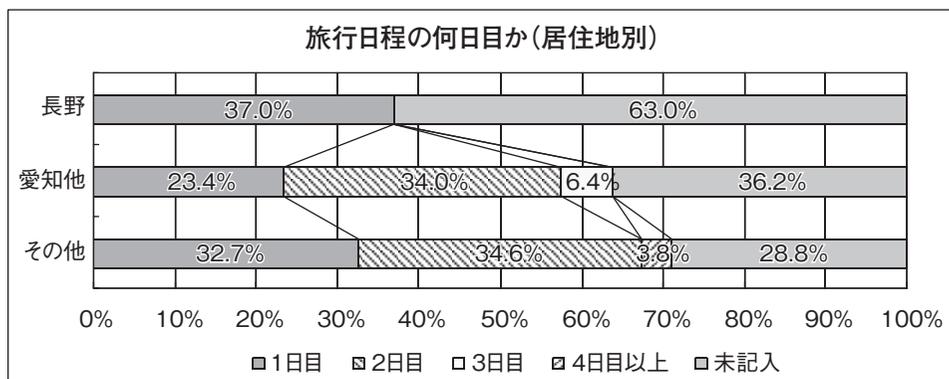


図3 a. 旅行日程の何日目か

図2よりわかるように、愛知他2県とその他都道府県からの来訪者は1泊2日が最も多いので、それらの方だけ取り出して集計した結果を図3bに示す。

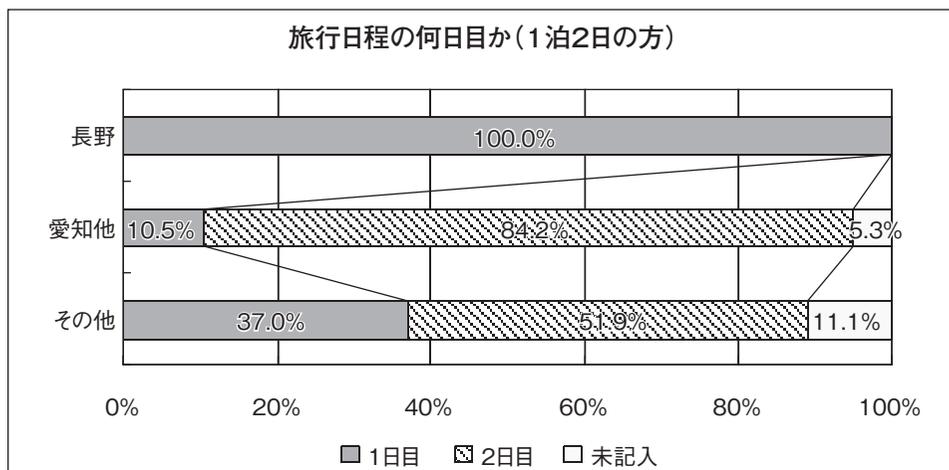


図3 b. 旅行日程の何日目か(1泊2日の方)

長野県は1日目100.0% (2人)であった。愛知他2県は、1日目(日月で旅行されている方) 10.5% (4人)、2日目(土日で旅行されている方) 84.2% (32人)、未記入5.3% (2人)であった。その他都道府県は、1日目(日月で旅行されている方)37.0% (10人)、2日目(土日で旅行されている方)51.9% (14人)、未記入11.1% (3人)であった。

1泊目の宿泊地に対する集計結果を図4に示す。長野県からの来訪者は、木曽町50.0% (1人)、木曽町以外50.0% (1人)であった。愛知他2県は、木曽町37.8% (17人)、木曽町以外48.9% (22人)、未記入15.6% (7人)であった。その他都道府県は、木曽町48.6% (17人)、木曽町以外37.1% (13人)、未記入14.3% (5人)であった。

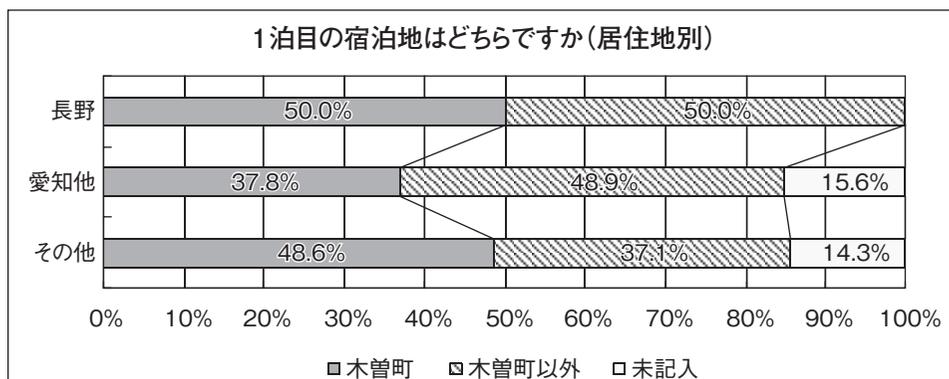


図4. 1泊目の宿泊地

長野県の方で、主な立ち寄り先を記入された方は11名で、その一覧を表1aに示す。表中の丸印(○)は調査当日を表す。

日程	年齢層	1日目	旅行相手	旅行手段
日帰り	20歳未満	木曽町	職場団体	バス
日帰り	40歳代	温泉	知人友人	送迎
日帰り	40歳代	開田高原	その他	送迎バス
日帰り	40歳代	乗鞍高原せせらぎの湯	家族(大人のみ)	マイカー
日帰り	60歳代	木曽福島	知人友人	マイカー
日帰り	60歳代	蕎麦を食べに来た	カップル	マイカー
日帰り	60歳代	開田高原	家族(子連れ)	マイカー
日帰り	60歳代	開田高原	夫婦	マイカー
日帰り	未記入	開田	知人友人	マイカー
1泊2日	60歳代	開田高原	知人友人	マイカー
1泊2日	70歳代	日和田	知人友人	マイカー

表1a. 長野県からの来訪者の主な立ち寄り先

愛知他2県で主な立ち寄り先を記入された方は36人で、その一覧を表1bに示す。

日程	年齢層	1日目	2日目	3日目	旅行相手	交通手段
日帰り	40歳代	○開田高原			知人友人	マイカー
日帰り	40歳代	○奈良井宿			夫婦	マイカー
日帰り	50歳代	○奈良井宿			夫婦	マイカー
日帰り	60歳代	○開田高原			夫婦	マイカー
1泊2日	20歳代	関所祭出演	○探索		サークル活動	観光バス
1泊2日	20歳代	関所祭演奏	○		サークル活動	観光バス
1泊2日	20歳代	宿泊銀の森	○そば食べた		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	20歳代	中津川	○松本		カップル	マイカー
1泊2日	30歳代	妻籠・木曾福島	○二本木温泉		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	30歳代	塩尻市ワインフェスタ	○帰宅		夫婦	マイカー
1泊2日	30歳代	松本から乗鞍	○木曾→中津川		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	40歳代	木曾福島	○開田高原		知人友人	マイカー
1泊2日	40歳代	中津川	○木曾		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	40歳代	白樺湖	○		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	長野安曇野	○		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	道の駅	○奈良井宿		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	50歳代	諏訪湖	○霧ヶ峰		知人友人	バイク
1泊2日	50歳代	諏訪湖	○霧ヶ峰		知人友人	バイク
1泊2日	50歳代	穂高	○		夫婦	マイカー
1泊2日	50歳代	塩尻ワインフェスタ	○松本		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	50歳代	上高地	○		家族(子連れ)	レンタカー
1泊2日	60歳代	長野市安曇野	○		夫婦	マイカー
1泊2日	60歳代	奈良井	○開田高原		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	60歳代	ロープウェイ	○		家族(子連れ)	マイカー
1泊2日	60歳代	田の原	○		知人友人	マイカー
1泊2日	60歳代	奥飛騨温泉郷	○		家族(大人のみ)	マイカー
1泊2日	60歳代	塩尻市	○帰路		夫婦	マイカー
1泊2日	60歳代	○木曾町			夫婦	マイカー
1泊2日	70歳代	御嶽山	○		知人友人	マイカー
1泊2日	70歳代	白川郷 平瀬	○		知人友人	マイカー
1泊2日	70歳代	スーパー林道	○道の駅		知人友人	マイカー
2泊3日	40歳代	上高地	松本	○	家族(子連れ)	マイカー
2泊3日	50歳代	新平湯	松本市	○名古屋	夫婦	マイカー
2泊3日	60歳代	松本	松本 安曇野	○奈良井他	夫婦	マイカー
2泊3日	60歳代	温泉とロープウェイ	ながわ	○道の駅	夫婦	マイカー
3泊4日 以上	60歳代	別荘	別荘	○道の駅	家族(大人のみ)	マイカー

表 1b. 愛知他2県からの来訪者の主な立ち寄り先

その他都道府県で主な立ち寄り先を記入して下さった26人の日程を表1cに示す。

日程	年齢層	1日目	2日目	3日目	4日目	旅行相手	交通手段
日帰り	50歳代	○名古屋	伊那	伊那	松山	友人知人	鉄道(JR)
日帰り	40歳代	○松本,安曇野,木曾				家族(子連れ)	マイカー
日帰り	30歳代	奈良井				家族(大人ののみ)	マイカー
1泊2日	20歳代	○木曾ビーナスライン				知人友人	バイク
1泊2日	40歳代	○木曾ビーナスライン	高山			知人友人	バイク
1泊2日	40歳代	○木曾福島	開田			知人友人	鉄道(JR)
1泊2日	60歳代	○木曾福島	奈良井			知人友人	中央高速バス
1泊2日	60歳代	○木曾福島	木曾周辺,奈良井			知人友人	中央高速バス
1泊2日	60歳代	○木曾福島	開田			知人友人	鉄道(JR)
1泊2日	70歳代	○木曾福島	開田高原			知人友人	鉄道(JR)
1泊2日	50歳代	開田	○			家族(大人ののみ)	マイカー
1泊2日	50歳代	木曾駒高原	○高山			知人友人	マイカー
1泊2日	20歳代	草津	○木曾			カップル(未婚)	マイカー
1泊2日	50歳代	塩尻(ワイン祭り)	○木曾,奈良井宿			夫婦	鉄道(JR)
1泊2日	60歳代	奈良井	○木曾福島			夫婦	鉄道(JR)
1泊2日	40歳代	奈良井宿	○木曾棧橋,興 禅寺,代官屋敷			夫婦	レンタカー
1泊2日	40歳代	贄川,奈良井	○木曾棧橋,興 禅寺,代官屋敷			夫婦	鉄道(JR)
1泊2日	50歳代	乗鞍	○野麦峠			家族(大人ののみ)	マイカー
1泊2日	40歳代	穂高	○帰り			知人友人	バイク
1泊2日	30歳代		○鍾乳洞			職場団体	マイカー
2泊3日	60歳代	観光	○同級会			知人友人	中央高速 バス
2泊3日	70歳代	中央道	○			ツアー団体	観光バス
3泊4日以上	20歳代	御岳			○	単独	マイカー
3泊4日以上	70歳代	御岳	車山高原	他	その他	夫婦	マイカー
3泊4日以上	70歳代	馬籠,妻籠	○妻籠,木曾福島	下呂	下呂	夫婦	鉄道(JR)
3泊4日以上	70歳代	馬籠,妻籠	○妻籠,木曾福島	下呂	下呂	夫婦	鉄道(JR)

表 1c. その他都道府県からの来訪者の主な立ち寄り先

2-3 現在地における滞留予定時間と旅行相手

来訪者の調査地点付近(木曾福島地区, 開田高原または道の駅日義木曾駒高原)における滞留(予定)時間を図5に示す。滞留時間が1時間未満の人は, 長野県56.8%(46人), 愛知他2県52.1%(49人), その他都道府県57.6%(28人)であった。

2時間以上現地で過ごされる方は, 長野県24.7%(20人), 愛知他2県20.2%(19人), その他都道府県15.4%(8人)であった。天候が不順であったせいも, 前年の調査結果とは異なり, 長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりも滞留時間が多少短くなっているようだ。

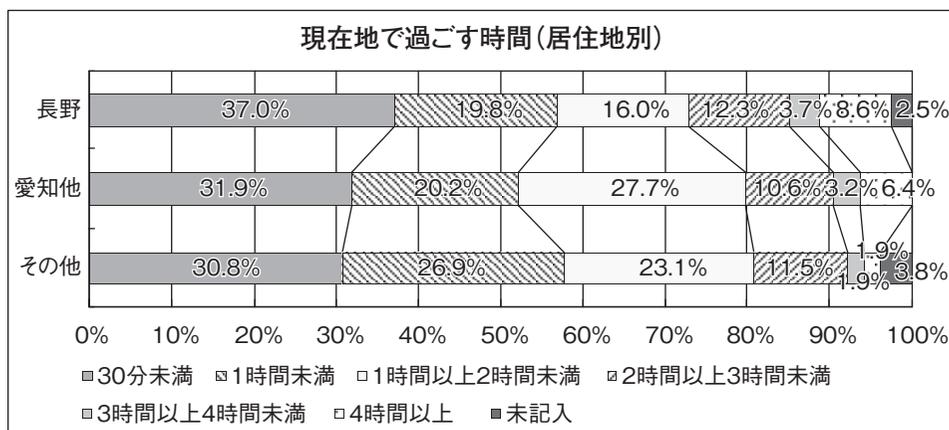


図5. 来訪者の滞留時間

旅行相手を単純集計した結果は全227人の内、友人知人(64人、28.2%)、夫婦(52人、22.9%)、家族(子連れ)(39人、17.2%)、家族(大人のみ)(34人、15.0%)の順であった。

旅行相手を居住地別に集計した結果を図6に示す。長野県内からの来訪者の旅行相手は、友人知人27.2%(22人)、家族(子連れ)と夫婦がともに16.0%(13人)、単独13.6%(11人)、家族(大人のみ)12.3%(10人)の順となっている。愛知他2県からの来訪者の旅行相手は、夫婦29.8%(28人)、友人知人25.5%(24人)、家族(子連れ)22.3%(21人)、家族(大人のみ)13.8%(13人)の順で、その他都道府県からの来訪者は友人知人34.6%(18人)、夫婦と家族(大人のみ)がいずれも21.2%(11人)の順となっている。

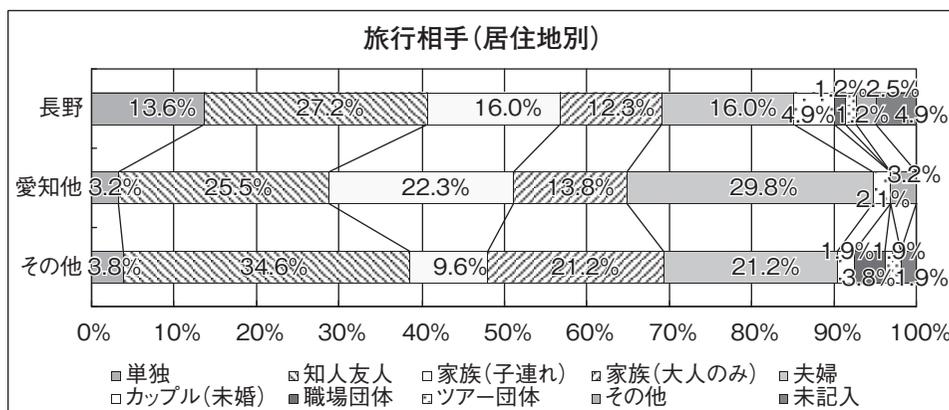


図6. 来訪者の旅行相手

2-4 主な交通手段と権兵衛トンネルの利用度

来訪者の主な交通手段を図7に示す。長野県内からは、マイカー 84.0%(68人)、その他7.4%(6人、送迎バス2人、歩き・バス1人、バス1人、未記入2人)、観光バス4.9%(4人)の順であっ

た、愛知他2県からは、マイカー 83.0% (78人)、鉄道(JR)10.6% (10人)、バイク3.2% (3人)、
 その他都道府県からは、マイカー 59.6% (31人)、鉄道(JR)17.3% (9人)、バイク11.5% (6人)、
 中央高速バス5.8% (3人)、観光バス3.8% (2人)の順であった。

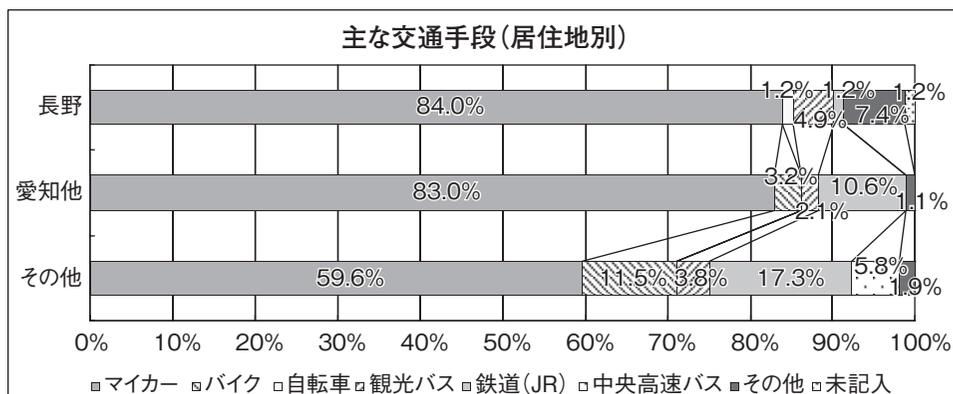


図7. 来訪者の主な交通手段

伊那谷と木曾谷を結ぶ権兵衛トンネルを往路に通ってきた人は、長野県の48.1% (39人)、
 愛知他2県の17.0% (16人)、その他都道府県の32.7% (17人)であった(図8a参照)。

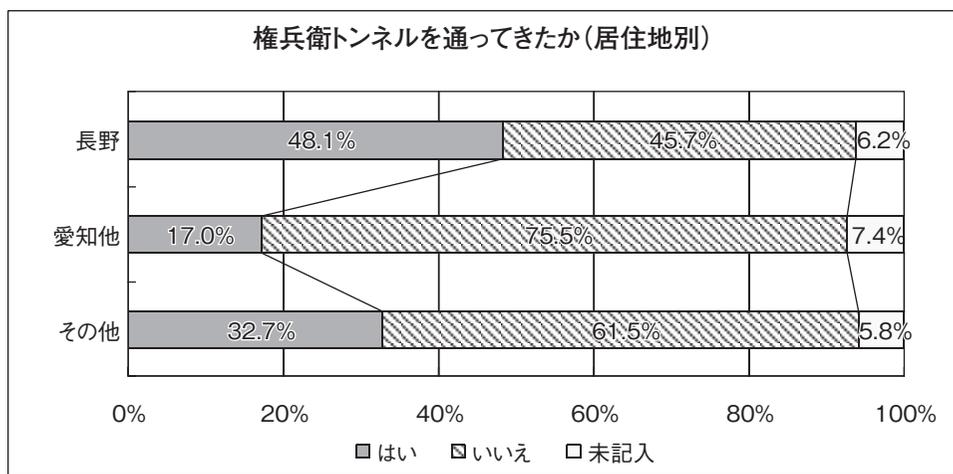


図8a. 権兵衛トンネルを通ってきたか

権兵衛トンネルを帰路に通る予定の人は、長野県24.7% (20人)、愛知他2県8.5% (8人)、
 その他7.7% (4人)(図8b参照)となっている。

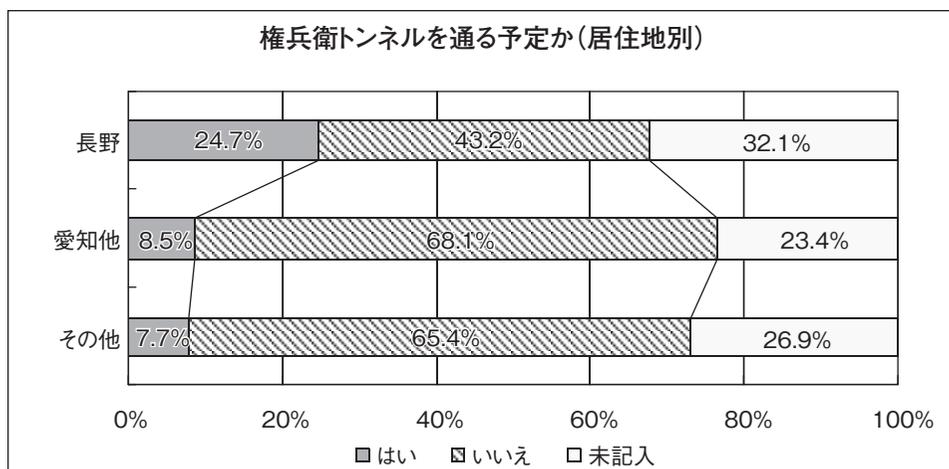


図 8 b. 権兵衛トンネルを通る予定か

権兵衛トンネルの利用度を居住地別に集計した結果を表2a, 表2b, 表2cに示す. ①は往路, ②は帰路に対する回答を表す. 例えば, 表2aの上から2行目は, 権兵衛トンネルを通ってきた長野県からの来訪者(39人)のうち13人は帰りにも権兵衛トンネルを通る, 6人は通らないと答え, 他の20人は無回答であったことを示す. 第3行目は権兵衛トンネルを通らなかった人(37人)のうち4人は帰りに通る, 29人は通らないと答え, 4人は無回答であったことを示す. 第4行は行きは無回答だった人(5人)が, 帰りは権兵衛トンネルを通ると答えた人が2人, 帰りも無回答だった人が4人いることを示す.

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	13	6	20	39
①通らなかった	4	29	4	37
①無回答	3	0	2	5
計	20	35	26	81

表 2 a. 長野県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	4	5	7	16
①通らなかった	4	59	8	71
①無回答	0	0	7	7
計	8	64	22	94

表 2 b. 愛知他2県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度

	②通る	②通らない	②無回答	計
①通った	1	6	10	17
①通らなかった	1	28	3	32
①無回答	2	0	1	3
計	4	34	14	52

表 2 c. その他都道府県からの来訪者の権兵衛トンネルの利用度

2-5 現在地への来訪回数と来訪目的

現在地(木曾福島地区、開田高原、または道の駅日義木曾駒高原)への来訪回数を図9に示す。長野県内からの来訪者は、10回以上33.3%(27人)、3~5回24.7%(20人)、はじめて22.2%(18人)、2回目と6~9回がともに7.4%(6人)の順となっている。6回以上のリピーターが40.7%(33人)、2回以下が29.6%(24人)であった。

愛知他2県からの来訪者は、10回以上が35.1%(33人)、3~5回19.1%(18人)、はじめてが22.3%(21人)、2回目13.8%(13人)の順であった。6回以上のリピーターが44.7%(42人)、2回以下が36.2%(34人)を占めている。

その他都道府県からの来訪者は、はじめて55.8%(29人)が最も多く、2回目13.5%(7人)、3~5回と6~9回ともに11.5%(6人)でそれに続いている。2回以下が69.3%(36人)、6回以上のリピーターは19.2%(10人)を占めている。2回以下の来訪者の比率は、その他都府県が最も高くなっている。

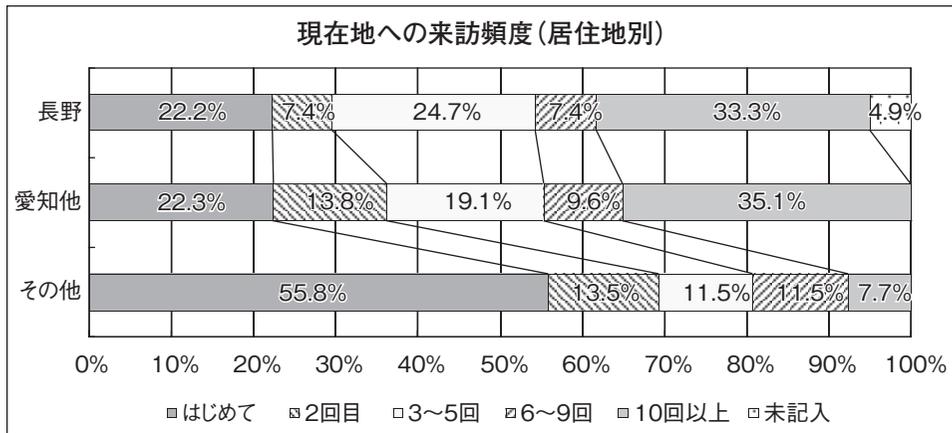


図8. 木曾町への来訪回数

現在地を訪れた目的(3つまで選択)は、単純集計では、紅葉狩り(81人、35.7%)、ドライブ(60人、26.4%)、自然の風景(56人、24.7%)、温泉(含足湯)(40人、17.6%)、ドライブ(75人、31.4%)、飲食(48人、21.1%)、ドライブ(75人、31.4%)、産地直売品・お土産(22人、9.7%)の順であった。

居住地域別(図9参照)に見ると、長野県からの来訪者の目的は、紅葉狩り34.6%(28人)、ドライブと自然の風景がともに28.4%(23人)、飲食と温泉(含足湯)がともに19.8%(16人)、その他18.5%(15人)、産地直売品・お土産12.3%(10人)、木曾馬の里8.6%(7人)の順であった。飲食に対する具体的記述は、蕎麦2人、アイス1人、自前1人であった。その他に対する記述(10人)は、仕事2人、イベント帰り(文化祭に出席1を含む)2人、おしゃべり1人、子供1人、山菜採り1人、地元1人、すんき菜を求めて1人、蕎麦1人であった。

愛知他2県は、紅葉狩り38.3%(36人)、ドライブ29.8%(28人)、自然の風景22.3%(21人)、飲食19.1%(18人)、その他17.0%(16人)、温泉(含足湯)13.8%(13人)、産地直売品・お土産9.6%(9人)の順であった。飲食に対する記述は蕎麦1人であった。その他に対する記述(9人)は、実家帰省(木曾に実家がある1を含む)2人、関所祭りに出席2人、きのこ採り1人、休

憩1人，私用1人，違った道を通る1人，通過点1人，別荘1人であった。

その他都府県は，紅葉狩り32.7% (17人)，飲食26.9% (14人)，自然の風景23.1% (12人)，温泉(含足湯)21.2% (11人)，ドライブとその他がともに17.3% (9人)，木曾馬牧場9.6% (5人)の順であった。その他に対する記述(7人)は，お参り，帰省，塩尻に来たついで，信州の帰り，ツーリング，トイレ，奈良井-平沢各1人であった。

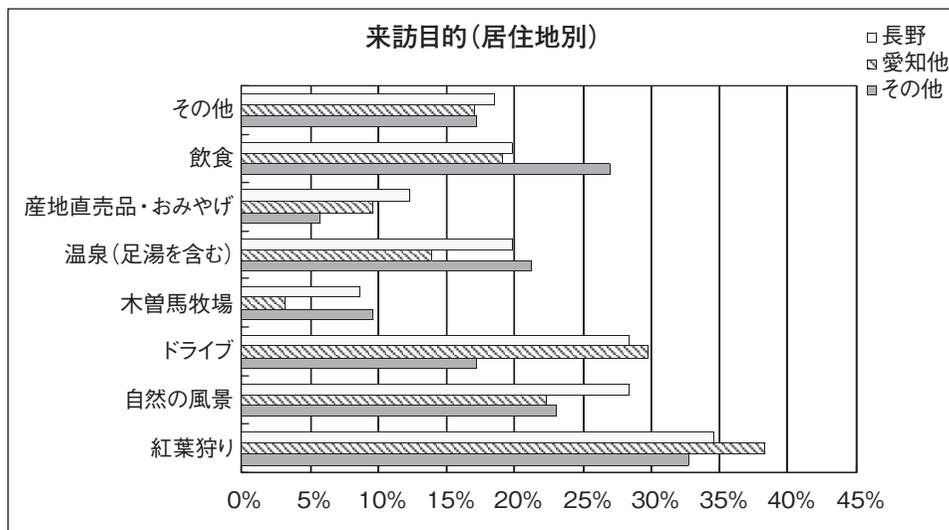


図9. 木曾福島地区を来訪した目的

2-6 今回の旅行で訪れた，または訪れる予定の場所

今回の旅行で訪れた場所(訪れる予定の場所を含む)(5つまで回答可)に対する単純集計の結果を表3に示す。

10位までに、

- (1) 御嶽山とその周辺：開田高原(含九蔵峠展望台)(第2位47人，20.7%)，木曾馬の里(第8位21人，9.3%)
- (2) 道の駅：道の駅日義木曾駒高原(第4位28人，12.3%)，木曾くらしの工芸館(道の駅ならかわ)(第10位19人，8.4%)
- (3) 宿場町：奈良井宿(第1位56人，24.7%)
- (4) 福島地区：山村代官屋敷(第5位27人，11.9%)，福島関所(第6位25人，11.0%)，上の段の街並み(第7位23人，10.1%)

が含まれている。天候不順の影響か，御嶽山とその周辺，道の駅，宿場町が減少し，福島地区が増加している。回答数は1人当たり1.97で，前年の調査の1.19よりも約65ポイント増加している。

順位	項目	度数	%	順位	項目	度数	%
1	奈良井宿	56	24.7%	16	やぶはら高原	10	4.4%
2	開田高原(含九蔵峠展望台)	47	20.7%	17	御嶽山	9	4.0%
3	その他	31	13.7%	18	木曾駒高原	9	4.0%
4	道の駅日義木曾駒高原	28	12.3%	19	平沢漆器街	9	4.0%
5	山村代官屋敷	27	11.9%	20	桃介橋	8	3.5%
6	福島関所	25	11.0%	21	赤沢自然休養林	6	2.6%
7	上の段の街並み	23	10.1%	22	やまゆり荘	6	2.6%
8	木曾馬の里	21	9.3%	23	ふるさと体験館きそふくしま	5	2.2%
9	寝覚の床	20	8.8%	24	道の駅三岳	5	2.2%
10	木曾くらしの工芸館	19	8.4%	25	鳥居峠	4	1.8%
11	妻籠宿	17	7.5%	26	藪原宿	4	1.8%
12	馬籠宿(藤村記念館)	14	6.2%	27	彩菜館	3	1.3%
13	興禅寺	13	5.7%	28	フォレスパ木曾	3	1.3%
14	義仲館	13	5.7%	29	定勝寺	2	0.9%
15	道の駅大桑(木楽舎)	10	4.4%		合計	447	196.9%

表3. 今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)

居住地別に集計した結果(図10参照)では、長野県からの来訪者は、奈良井宿25.9%(21人)、道の駅日義木曾駒高原22.2%(18人)、開田高原(含九蔵峠展望台)16.0%(13人)、木曾くらしの工芸館14.8%(12人)、やぶはら高原とその他がともに11.8%(9人)、義仲館、山村代官屋敷、木曾馬の里、寝覚の床がいずれも9.9%(8人)の順となっている。その他には、「たぐち」、「和菓子」、「ホテル木曾」、「温泉」が挙げられていた。

愛知他2県は、開田高原(含九蔵峠展望台)25.5%(24人)、奈良井宿とその他がともに16.0%(15人)、木曾福島関所と木曾馬の里がともに11.7%(11人)、道の駅日義木曾駒高原10.6%(10人)の順となっている。その他には、「上高地」2人、「穂高・ビーナスライン」、「田の原」、「蕎麦」、「新穂高ロープウェイ」が挙げられていた。

その他都道府県は、奈良井宿38.5%(20人)、上の段の街並み25.0%(13人)、開田高原(含九蔵峠展望台)と山村代官屋敷がともに19.2%(9人)、木曾福島関所と寝覚の床がともに15.4%(8人)、その他13.5%(7人)、妻籠宿と馬籠宿がともに11.5%(6人)であった。その他には、「御嶽山」2、「温泉」、「蕎麦」、「蔵平」(湯〜らんどバルとよねの可能性あり)「りんご」、「松本城」、「道の駅で休憩」が記述されていた。

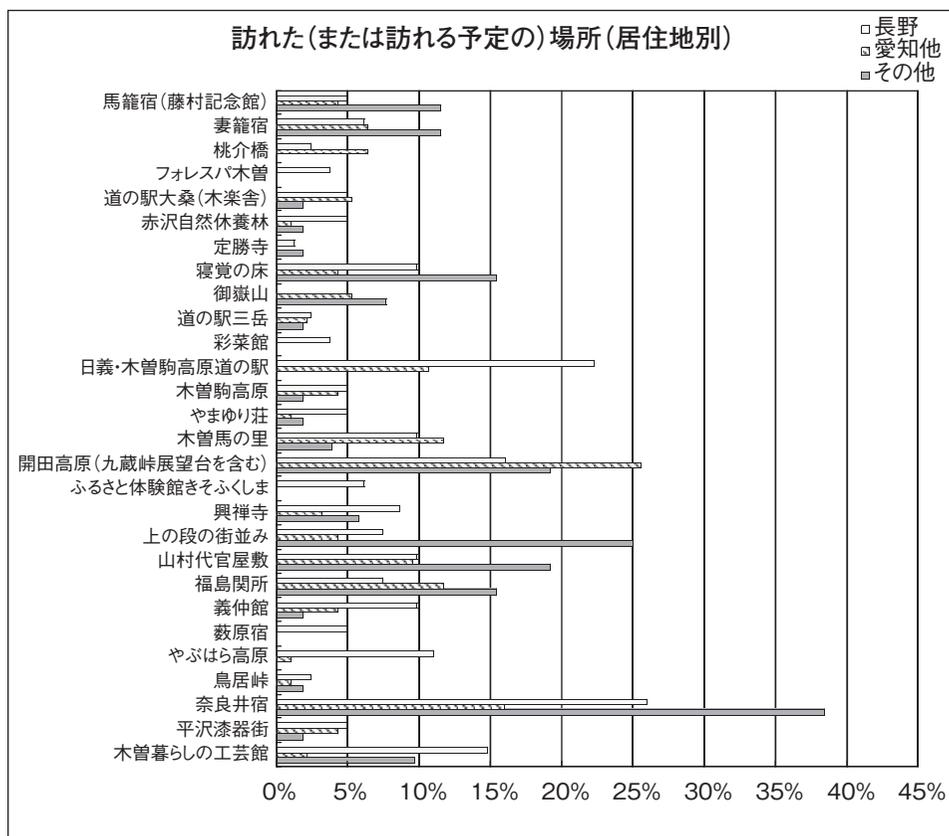


図10. 今回の旅行で訪れた, または訪れる予定の場所

2-7 情報収集の方法と求める地域情報

現在地(木曾福島地区, 開田高原または道の駅日義木曾駒高原)に関する情報収集手段(3つまで選択)は, 単純集計では以前に来た(80人, 35.2%), 口コミ(32人, 14.1%), その他(30人, 13.2%), 観光パンフレットとインターネットがともに(25人, 11.0%), インターネット(24人, 10.0%), ここではじめて(20人, 8.8%), 沿道の看板(17人, 7.5%), ガイドブック(13人, 5.7%)の順であった。

居住地域別の集計結果を図11に示す。長野県内からの来訪者は, 以前に来た39.5%(30人), 口コミ18.5%(15人), その他12.3%(10人), 観光パンフレット9.9%(8人), ここではじめてとインターネットがともに8.6%(7人)の順であった。その他を記述した人は, 「知人」2, 「友人」, 「知っています」が各1で, 以前に来た, または口コミに分類できる内容であった。

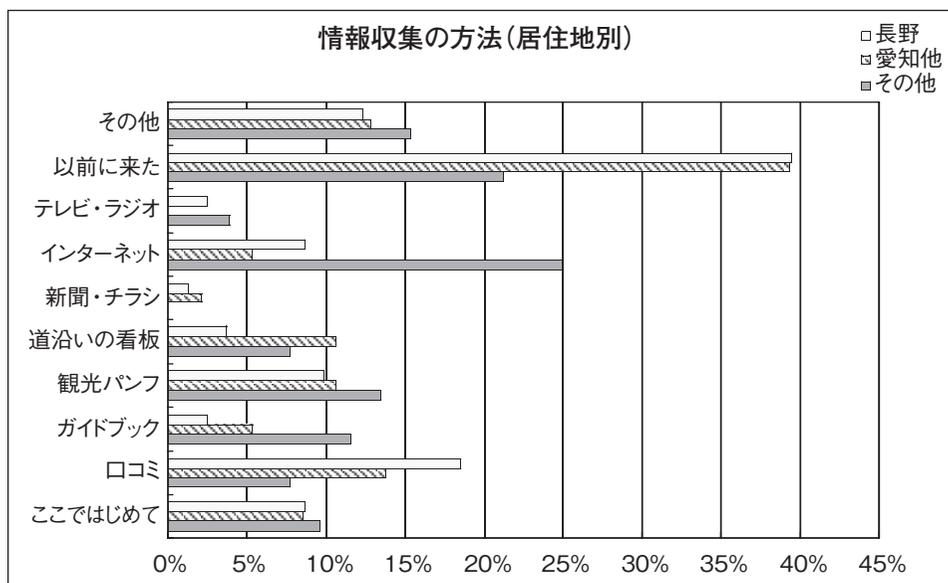


図11. 木曽福島地区の情報収集手段

愛知他2県は、以前に来た39.4% (37人)、口コミ13.8% (13人)、その他12.8% (12人)、観光パンフレットと沿道沿いの看板がともに10.6% (10人)、ここではじめて8.5% (8人)、インターネット5.3% (5人)の順であった。その他に対する記述は「友人」が2、「知人」、「主人が地元」、「通りがけ」が各1であった。

その他都府県は、沿道の看板16.9% (11人)、以前に来たと観光パンフレットがともに15.4% (10人)、インターネット13.8% (9人)、ここではじめてとその他がともに12.3% (8人)、口コミとガイドブックがともに9.2% (6人)の順であった。その他に対する記述は、「知人」3、「道の駅の本」、「本」、「宿宿り」が各1であった。

情報収集の手段として、長野県と愛知他2県からの来訪者は、第1位「以前に来た」、第2位「口コミ」となっている。天候が雨模様で肌寒かったことが影響しているかもしれないが、これらの地域からの来訪者にリピータが多いことを示している。

「その他」を除くと、「観光パンフレット」がどの居住地でも第3位以内に入っている。比率は其他都道府県が13.5%で最も高く、長野県と愛知他2県の10%前後よりも若干高くなっている。立ち寄ったお店に木曽福島地区などのパンフレットが置いてあることが役立っているかもしれない。

この地域に関するほしい情報を単純集計した結果は、食事の楽しめる場所(100人, 44.1%)、温泉施設(86人, 37.9%)、自然にふれあえる場所(60人, 26.4%)、農産物直売所(51人, 22.5%)、季節のイベントや催し(40人, 17.6%)、ドライブコース・道路(36人, 15.9%)の順であった。

居住地別に集計した結果を図12に示す。長野県は、温泉施設48.1% (39人)、食事の楽しめる場所44.4% (36人)、自然にふれあえる場所22.2% (18人)、農産物直売所18.5% (15人)、季節のイベントや催し17.3% (14人)、ドライブコース・道路11.1% (9人)の順になっている。

愛知他2県は、食事の楽しめる場所44.7% (42人)、温泉施設29.8% (28人)、自然にふれあえる場所28.7% (27人)、農産物直売所27.7% (26人)、季節のイベントや催し19.1% (18人)、ドライブコース・道路17.0% (16人)の順になっている。

その他都道府県は、食事の楽しめる場所42.3% (22人)、温泉施設36.5% (19人)、自然にふれあえる場所28.8% (15人)、ドライブコース・道路21.2% (11人)、農産物直売所19.2% (10人)、季節のイベントや催し15.4% (8人)の順になっている。

「食事の楽しめる場所」(単純集計第1位)は、愛知他2県及びその他都道府県で第1位、長野県では第2位だが、どの地域でも40ポイントを超えている。「温泉施設」(単純集計第2位)は、長野県では第1位、他の2地域では第2位になっている。また、「ドライブコース・道路」に関してはその他都道府県が最も高く、愛知他2県、長野県がそれに続いている。

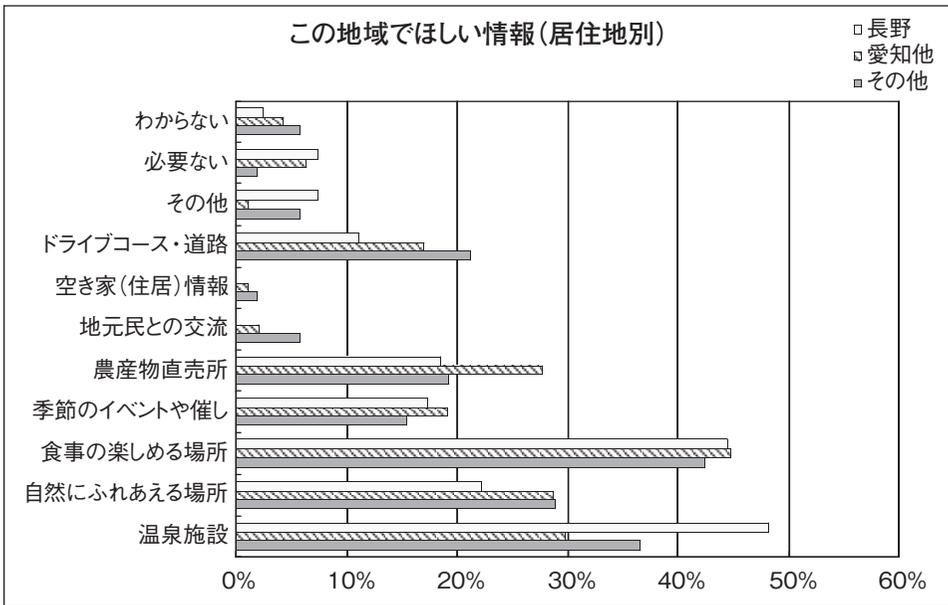


図12. この地域に関するほしい情報

2-8 旅行予算とお土産代

旅費と宿泊費を除く旅行の1人当たりの予算を図13に示す。図2の旅行日程のグラフからわかるように、長野県内からの来訪者、愛知他2県からの来訪者、その他都道府県からの来訪者の順に宿泊を伴う伴う割合が高くなっている。さらに、その他都道府県の方が愛知他2県よりも連泊する比率が高い。これらの旅行日程を反映して、長野県内、愛知他2県、その他都道府県の順に旅行予算が増加していると考えられる。

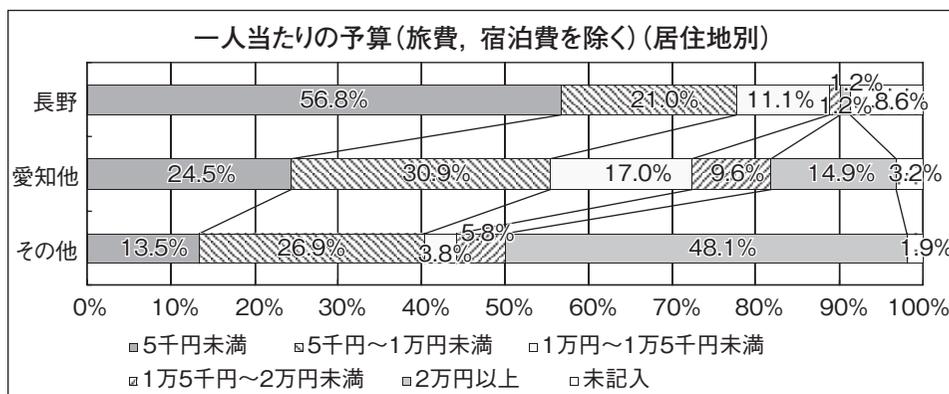


図13. 旅費, 宿泊費を除いた旅行の予算

旅費と宿泊費を除く旅行の1人当たりの予算の中に含まれる、お土産代の集計結果を図14に示す。長野県内からの来訪者は、2千円未満46.9% (39人)、2千円以上4千円未満29.6% (24人)と4千円未満が76.5%を占め、4千円以上は8.6%となっている。

愛知他2県からの来訪者は、2千円未満23.5% (22人)、2千円以上4千円未満38.3% (36人)と4千円未満が61.7%を占め、4千円以上は31.9% (30人)であった。その他都道府県からの来訪者は、2千円未満17.3% (9人)、2千円以上4千円未満36.5% (19人)と4千円未満が53.8%を占め、4千円以上は38.5% (20人)であった。長野県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりもお土産代は多いようだ。

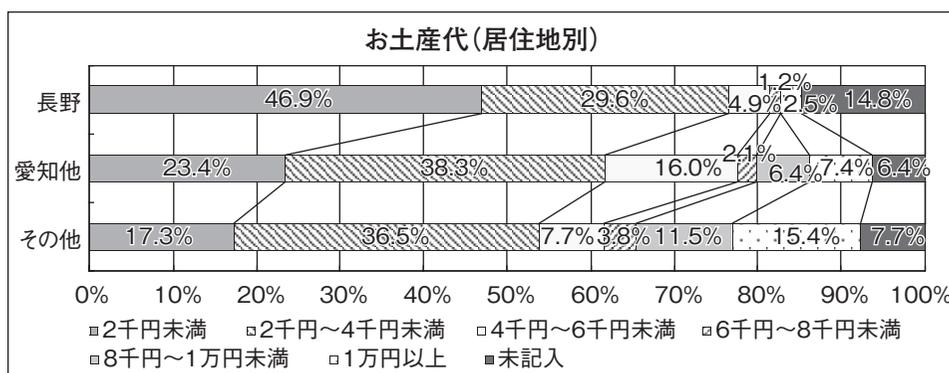


図14. お土産代

2-9 お土産として購入したものと探しているもの

木曾地域を訪れる観光客がどのようなものをお土産品として求めているかを知るために、購入したお土産品とお土産としてどんなものを探しているかについて記述していただいた。購入したお土産品を表4aにあげる。

お土産として購入したのものの中に、「野菜」、「きのこ」、「蕎麦」、「りんご」、「すんき」、「漬物」など地場の農産物、「蕎麦まんじゅう」、「栗きんとん」、「栗こもち」等のお菓子類、「漆器」、

「箸」等の特産品,「酒」,「アイスクリーム」などの乳製品などが挙げられている。

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
アイスクリーム	4	りんご	8	野菜(地場野菜1を含む)	5
蕎麦	4	蕎麦	6	蕎麦	4
菓子	3	酒(地酒1を含む)	5	りんご	4
栗こもち	3	菓子	3	野沢菜	3
五平もち	3	果物	3	箸	3
りんご	3	野沢菜	3	赤カブ	2
きのこ	2	わさび	3	菓子	2
すんき	2	きのこ	2	栗きんとん	2
煎餅	2	そば粉	2	柿	1
漬物	2	漬物	2	木地師の皿	1
野菜	2	まんじゅう	2	きのこ	1
アマランサス	1	野菜	2	クッキー	1
草餅	1	ワイン	2	すんき	1
クッキー	1	野菜	2	地の物	1
栗	1	開田高原バター	1	農産品	1
栗ようかん	1	菓子類	1	蜂蜜	1
黒ようかん	1	かりんとう	1	まんじゅう	1
酒(七笑)	1	栗きんとん	1	味噌	1
山菜	1	ざるぼぼ	1	ようかん	1
漆器	1	ストラップ	1	りんごジュース	1
そばまんじゅう	1	煎餅(木曾産)	1	ワイン	1
蕎麦餅	1	蕎麦かりんとう	1		
たぐちのかしもち	1	パスタソース	1		
タラ	1	木工品	1		
チーズ	1				
つりもの	1				
とうもろこし	1				
ぶっちょ	1				
ほうき	1				
松茸	1				
松茸弁当	1				
まんじゅう	1				
木工品	1				
わさび海苔	1				
木曾の竹細工	1				

表4a. お土産として購入したもの

お土産として探しているものを表4bにあげる。長野県は,「木曾ならではのもの」4,「赤カブ」2,「蕎麦」2,「おいしいもの」2,「地元野菜」2の順になっている。愛知他2県は,「特産品(名産品を含む)」3,「果物」2,「野菜」2,「山の幸」2,「ゆるキャラグッズ」2,「りんご(紅玉を含む)」2,「漬け物」2の順となっている。その他都道府県では,「地元の特産品」7,「蕎麦」3の順となっている。

いずれの地域からの来訪者も「特産品」とその類似表現を多数あげている。これらの表現

で、表4aに挙げられているものでもよく知られていないもの、または、表4aには含まれていない、<木曽らしい何か>を探し求めていることを表しているのかもしれない。

長野県		愛知他2県		その他都道府県	
品目	度数	品目	度数	品目	度数
木曽ならではのもの	4	地元特産品	3	地元の特産品	7
赤カブ	2	果物	2	蕎麦	3
美味しいもの	2	野菜	2	赤カブ	1
地元野菜	2	山の幸	2	菓子	1
色々	1	ゆるきゃらグッズ	2	木曽檜の工芸品	1
おつまみ	1	りんご(紅玉を含む)	2	気に入った物	1
木曽漆器	1	菓子	1	酒	1
子供のお土産	1	きのこ	1	その土地の美味しいもの	1
地元のうまいもの	1	クッキー	1	漬物	1
凄いもの(買って損しないもの)	1	食品	1	農産物	1
すんきカレー	1	ストラップ	1	めずらしいもの	1
食べれるお土産	1	漬物	1	野菜	1
真新しさ	1	年寄りが喜びそうな物	1	りんご	1
松茸	1	ビール	1	わさび	1
まんじゅう	1	味噌	1		

表4b. お土産として探しているもの

お土産品がどこで製造されたか(製造元)を調べた上で購入するかの間に対する集計結果を図15に示す。注意する(はい)と答えた人は、長野県約33.3%(27人)、愛知他2県40.4%(38人)、その他都道府県30.8%(16人)であった。

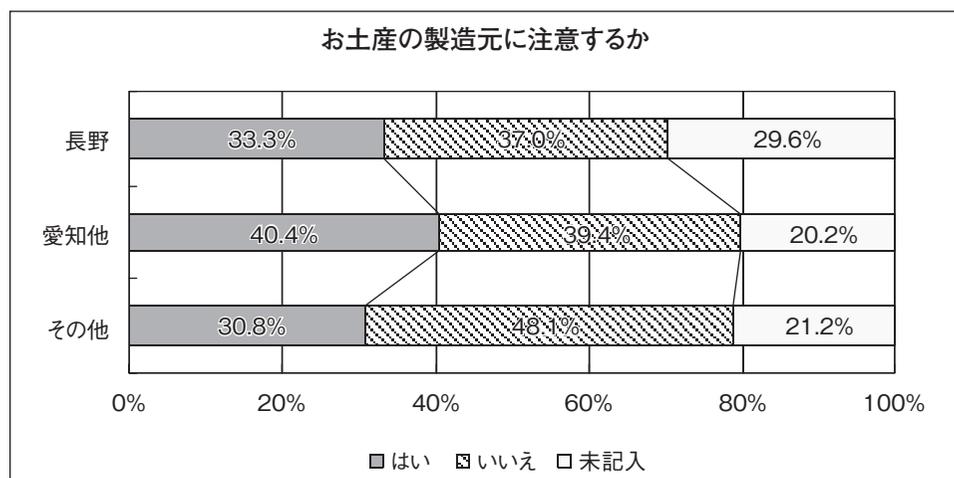


図15. お土産品の製造元

製造元に注意するかの間に対して「はい」と答えた方の理由表5に示す。

長野県	愛知他2県	その他都道府県
安心安全	安心安全	外国産では意味がない
外国産	外国産は嫌だから	国産か？
木曾産	外国産は食したくない	国産を調べている
健康のため	現地のものかどうか	地場で作られたものが欲しいから
怖いから	地元産	地元
地元産出なければお土産の意味がないので	地元産がいい	地元産
製造元が地元なのか	信州産	地元なのか
その土地の品物を買いたい	その土地で製造されたものでないと旅行土産の意味が無いから	その土地のものが欲しい
食べ物（木曾のものであれば）	何所産か知りたい	他県で作られたものよりその地の物を目指す
地産池消		地産
昔から名が知られている		中国・韓国製は買いたくない

表5. 製造元に注意する(はいと答えた)理由

「いいえ」と答えた理由を記述して下さった方は長野県の1人だけで、「気にしないから」であった。

2-10 おいしかったもの

木曾地域で飲食してみておいしかったもの(5つまで選択)を単純集計した結果は、第1位アイスクリーム(64人, 28.2%), 第2位とうじそば(48人, 21.1%), 第3位エゴマの五平餅(44人, 19.4%), 第4位その他(42人, 18.5%), 第5位スunkiそば(32人, 14.1%), 第6位栗こもち(28人, 12.3%), 第7位ほおば巻き(23人, 10.1%), 第8位そばまんじゅうと木曾牛コロッケ(19人, 8.4%), 第10位とうもろこし(17人, 7.5%), 第11位赤かぶ漬け(16人, 7.0%)の順であった。

居住地域別に集計した結果を図15に示す。長野県は、第1位アイスクリーム33.3%(27人)、第2位とうじそば25.8%(21人)、第3位ほおば巻き22.2%(18人)、第4位栗こもち21.0%(17人)、第5位すunkiそば14.8%(12人)、第6位エゴマの五平餅16.0%(13人)、第7位木曾牛コロッケ12.3%(10人)、第8位その他9.9%(8人)、第9位そばまんじゅう8.6%(7人)、第10位きのご鍋、赤かぶ漬け、とうもろこしがいずれも7.4%(6人)の順であった。愛知他2県では、第1位アイスクリーム28.7%(27人)、第2位エゴマの五平餅22.3%(21人)、第3位その他21.3%(20人)、第4位とうじそばとすunkiそばがともに18.1%(17人)、第6位とうもろこし9.6%(9人)、第7位そばまんじゅう8.5%(8人)、第8位きのご鍋、赤かぶ漬け、および栗こもちがいずれも6.4%(6人)の順であった。

その他都道府県では、第1位その他26.9%(14人)、第2位とうじそば、エゴマの五平餅、およびアイスクリーム41.5%(24人)、第5位栗こもち9.6%(5人)、第位赤かぶ漬けとそばまんじゅうがともに7.7%(4人)、第8位すunkiそばと栗こもちがともに5.8%(3人)の順であった。

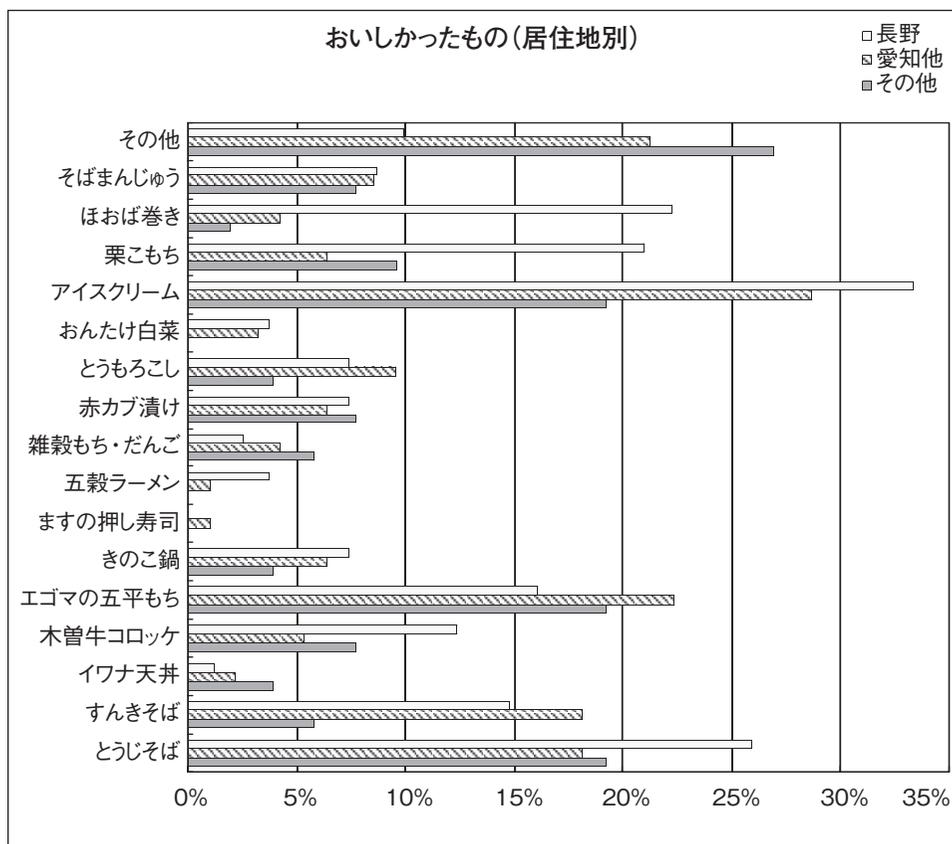


図16. 飲食しておいしかったもの

飲食しておいしかったものの中で、その他に具体的に記述していただいたものを表6に示す。どの居住地域の方も蕎麦が一番多くなっている。

長野県		愛知他 2 県		その他都道府県	
項目	度数	項目	度数	項目	度数
蕎麦	5	蕎麦(車屋1を含む)	8	蕎麦(権兵衛、手打ち各1を含む)	6
おやき(野沢菜)	1	岩魚の刺身	2	アップルパイ	2
		ざる蕎麦	2	パスタ	2
		岩魚	1	ざる蕎麦	1
		岩魚の塩焼き	1	松茸	1
		おやき	1		
		きのこ汁	1		
		鮭のマリネ	1		
		とうもろこしソフト	1		
		何でもおいしい	1		

表6. その他に記述された飲食しておいしかったもの

他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですか(記述式質問)に対する回答を表7に示す。どの居住地域からの来訪者も、「蕎麦」、「きのこ料理」、「山菜」に関心がある。それら以外に、長野県では、「木曾牛ステーキ」2、「木曾牛」1、「木曾牛コロッケ」1、愛知県2県では、「牛肉(牛肉の料理1を含む)」4、「ステーキ」1、その他都道府県では、「牛」1、「木曾牛」1、「木曾牛ステーキ」1が示すように、木曾牛に対する関心が広まりつつあるようだ。愛知県2県では、「岩魚」、「山女魚」、その他都道府県では、「熊」が挙げられている。

長野県		愛知県2県		その他都道府県	
項目	度数	項目	度数	項目	度数
蕎麦	11	岩魚	2	蕎麦	5
木曾牛ステーキ	2	きのこ料理	2	地元名物	2
きのこ鍋	2	そばがき	2	ピザ	2
お餅を使用した料理	1	松茸	2	牛	1
かつ丼	1	松茸料理	1	川魚	1
木曾牛	1	味噌を使ったもの	1	木曾牛	1
木曾牛コロッケ	1	野菜のてんぷら	1	木曾牛ステーキ	1
きのこ	1	山女魚	1	きのこ	1
きびごはん	1			きのこ等の山菜	1
果物を使用したスイーツ	1			きのこの味噌汁	1
魚類	1			キャベツ	1
雑穀餅・団子	1			熊	1
雑穀を使った食べ物	1			栗	1
すんきを使った料理など	1			原木なめこ	1
とうじそば	1			地のもの	1
特産のもの	1			漬物	1
菜っ葉 すんきのおやき	1			飛騨牛	1
ブルーベリー	1			ランチ(フレンチ)	1
味噌	1			新しいもの	1
味噌五平もち	1			野菜サラダ	1
五穀ラーメン	1				

表7. 他にどんな(食材を使った)料理を食べてみたいですかにあげられた品目

2-11 木曾路の印象

木曾路の印象を図16に示す。よい印象を持った人は、長野県では76.5%、愛知県2県では78.7%、その他都道府県では80.8%であった。

「よい」の理由として、長野県では、「紅葉」3、「空気」1、「木曾が住みやすい」1、愛知県他2県では、「山がせまった谷がいい」1が挙げられている。その他都道府県では、記述はない。また、「よくなかった」の理由に対する記述はなかった。

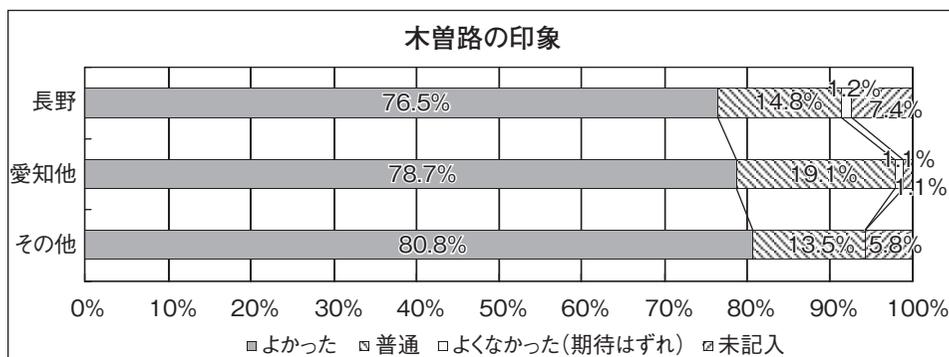


図17. 木曽路の印象

「木曽町(木曽福島, 開田高原または道の駅日義木曽駒高原)にまた来たいか」という問いに関する集計結果を図17に示す。どの居住地域からの来訪者も、是非来たいと機会があれば来たいを合計すると、長野県では、88.9%, 愛知他2県95.8%, その他都道府県では94.2%で、木曽地区には好印象を持っていることがわかる。

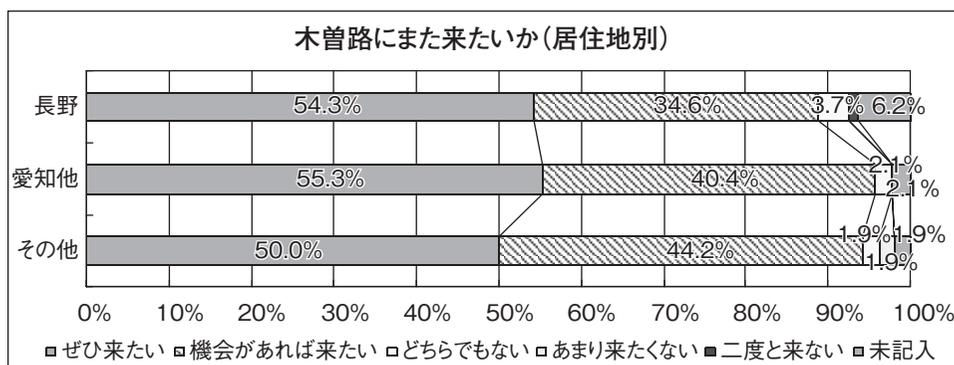


図18. 木曽路にまた来たいか

最後に、木曽町も参加している「日本の美しい村連合」を知っているか尋ねた。その結果、長野県では、「知っている」25.9%(21人), 「知らない」69.1%(56人), 「未記入」4.9%(4人)であった。愛知他2県では、「知っている」3.2%(3人), 「知らない」93.6%(88人), 「未記入」3.2%(3人), その他都道府県では、「知っている」5.8%(3人), 「知らない」88.5%(46人), 「未記入」5.8%(3人)であった。長野県以外では、「日本の美しい村連合」については、まだほとんど知られていないようだ。

3. 結

木曽福島地区、開田高原または道の駅日義木曽駒高原を来訪した方に対して2011年10月30日(日)に行ったアンケート調査の結果を、長野県、愛知他2県(愛知、静岡、岐阜)、そ

の他都道府県からの来訪者の3つの居住地域に分けて集計・分析した。

2011年の調査では、居住地別集計で50歳以上の割合は、長野県(81人中)は48.1%(39人)、愛知他2県(94人中)は54.2%(51人)、その他都道府県(52人中)は55.7%(29人)と、長野県の割合が他の居住地域よりも6～8ポイント低くなっている。一方、30歳代以下で比較すると、長野県は32.1%(26人/81人)、愛知他2県は23.4%(22人/94人)、その他都道府県は21.2%(11人/52人)と、県外からの来訪者の方が長野県からの来訪者よりも比率が約8ポイントから10ポイント低くなっている。

2010年の調査と比較すると、長野県では、50歳以上の比率は2010年よりも約3ポイント減少し、逆に、40歳未満が8ポイント上昇した。愛知他2県では、50歳以上の比率は2010年よりも約1ポイント減少し、40歳未満が6ポイント減少した。その他都道府県では、50歳以上の人に比率は2010年よりも3ポイント強減少し、40歳未満が9ポイント強減少した。天候不順であったことが、県外からの40歳未満の来訪者の減少を招いたといえるであろう。

今回の旅行での主な立ち寄り先は、長野県からの来訪者は20歳未満～70歳代までの方計11人が、愛知他2県からの来訪者は20歳代から70歳代まで計36人の方が、その他都道府県からの来訪者は20歳代から60歳代まで計26人の方が記入してくださった。観光客の行動範囲の広さが窺える(表1a, 1b, 1c参照)。

今回(2011年度)の調査では、来訪回数が6回以上の方は、長野県40.7%(33人)、愛知他2県44.7%(42人)、その他都道府県19.2%(10人)であった。6回以上のリピータは長野県と愛知他2県は40%台で、その他都道府県よりも20ポイント以上高い。また、初めて来訪した方は、長野県22.2%(18人)(2回目以下29.6%(24人))、愛知他2県22.3%(21人)(2回目以下36.2%(34人))、その他都道府県55.8%(29人)(2回目以下69.2%(36人))であった。2回目以下の来訪者の比率はその他都道府県が前年度よりも14ポイントも増加して69ポイントを超え、愛知他2県と長野県とその他都道府県に30ポイント以上の差をつけている。

木曽福島地区を来訪された方の当地に関する情報入手方法は、単純集計では、「以前に来た」、「ロコミ」、「沿道の看板」、「観光パンフレット」、「インターネット」、「ここではじめて」、「ガイドブック」の順になっている。季節季節の変わり目に、催しもの情報、季節のお菓子や特産物などの情報を観光パンフレットやホームページで紹介することも旅心をそそることに役立っているかもしれない。

この地域でほしい情報は、単純集計では、「食事の楽しめる場所」、「温泉施設」、「自然にふれあえる場所」、「農産物直売所」、「ドライブコース・道路」、「季節のイベントや催し」の順となっている。これらの情報を得るために、観光パンフレットやインターネットが重要な手段となっていることが窺える。

今回の旅行で訪れる場所(予定を含む)は、単純集計で10位までに挙げられている場所は、(1)御嶽山とその周辺、(2)道の駅、(3)宿場町、(4)木曽福島地区、に大別される。2010年度の調査では4番目に温泉が入っていたが、今回はそれに変わって「木曽福島地区」の観光スポットが入ってきた。

お土産として購入したもの(記述式質問)の中に、「野菜」、「りんご」、「蕎麦」、「きのこ」、「漬物」など地場の農産物、「栗こもち」、「栗きんとん」等のお菓子類、「酒」、「箸」、「漆器」などが挙げられている。

お土産として探しているもの(記述式質問)の中には、「購入したもの」の中に含まれるものが多いが、それら以外に、「特産品(名産品、木曾ならではのものを含む)」14、「おいしいもの」4が目立った。これらの言葉で表現されたものに対して<明確なイメージ>を与えることができる<もの>は何か、それを探ることがこれからの大切な課題の一つではないだろうか。

木曾地域で飲食してみておいしかったもの(5つまで選択)に対しては、「アイスクリーム」、「とうじそば」、「エゴマの五平餅」、「スunkiそば」、「栗こもち」、「ほおば巻き」、「そばまんじゅう」、「木曾牛コロッケ」、「とうもろこし」、「赤かぶ漬け」等が挙げられている。

お土産の製造元に注意するかに対する単純集計の結果は、はい35.7%、いいえ40.5%で、「はい」よりも「いいえ」の比率が若干高かった。この結果は、よいものはどこで製造されたものでもよい、という気持ちの表れだろうか。

この調査に参加した学生は、当時松本大学総合経営学部4年生2名(奥原由香、山下斐)、3年生5名(伊東一寛、牛山一樹、奥原亮太、久保田諒介、渡辺詩織)、2年生12名(赤沢あゆみ、新羽勇樹、池田尚史、上原達也、大澤和恵、勝沢紗希、黄曉輝、小松大、長谷川亮、藤澤雄也、山本真衣、藤原真美)、1年生5名(田中はるな、田中万葉、永井美穂、西沢美奈、宮田和希、山本順平)であった。

謝辞

2011年度の調査を行う際にも、前年度同様、木曾町企画財政課まちづくり係の方々に協力をして頂いた。この場を借りて感謝いたします。

アンケート調査(木曾福島地区, 開田高原, 日義・木曾駒高原道の駅を訪れた方対象)

□Q0 調査地点:木曾福島地区(①足湯, ②上の段, ③代官屋敷) ④開田高原 ⑤日義道の駅

□Q1 お住まい(ご自宅)はどちらですか

①都道府県 1)長野県 2)愛知県 3)岐阜県 4)静岡県 5)その他() 都・道・府・県
②市町村 () 市・町・村)

□Q2 ①性別と②年齢を教えてください

①性別 1)男 2)女
②年齢 1)20歳未満 2)20歳代 3)30歳代 4)40歳代 5)50歳代
6)60歳代 7)70歳以上

□Q3 今回の旅行に関する次の質問にお答えいただけますか

① 10月29日の関所祭りに参加されましたか 1)はい 2)いいえ
②日程: 1)日帰り 2)1泊2日 3)2泊3日 4)3泊4日以上
③今日は: 1)1日目 2)2日目 3)3日目 4)4日目以上
④観光コース: 1日目() → 2日目()
→ 3日目() → 4日目以降()

□Q4 現在地(福島地区, 開田高原, または日義道の駅)で何時間ぐらい過ごされますか

1)30分未満 2)1時間未満 3)1時間以上~2時間未満
4)2時間以上~3時間未満 5)3時間以上~4時間未満 6)4時間以上

□Q5 どなたと旅行されていますか

1)単独 2)友人知人 3)家族(子連れ) 4)家族(大人のみ) 5)夫婦
6)カップル(未婚) 7)職場団体 8)ツアー団体 9)その他()

□Q6 主な交通手段は何ですか

1)マイカー 2)バイク 3)自転車 4)観光バス 5)鉄道(JR) 6)中央高速バス
7)タクシー 8)その他()

□Q7 今回の旅行で(木曾谷と伊那谷を結ぶ)権兵衛トンネルを利用されるかおたずねします

①権兵衛トンネルを通ってきましたか 1)はい 2)いいえ
②権兵衛トンネルをこれから通る予定ですか 1)はい 2)いいえ

□Q8 現在地(木曾福島, 開田高原, または日義道の駅)に今までに何回来たことがありますか

1)はじめて 2)2回目 3)3~5回目 4)6~9回目 5)10回以上

□Q9 木曾町を訪れた目的は何ですか(3つまで選んでください)

観光(①紅葉狩り, ②自然の風景, ③ドライブ, ④木曾馬牧場) ⑤温泉(足湯も含む)
⑥産地直売品・おみやげ ⑦飲食() ⑧その他()

□Q10 今回の旅行で訪れた(訪れる予定の)場所を教えてください(5つまで選んでください).

1)木曾くらしの工芸館(道の駅ならかわ) 2)平沢漆器街 3)奈良井宿 4)鳥居峠
5)やぶはら高原(こだまの森) 6)藪原宿 7)義仲館 8)福島関所
9)山村代官屋敷 10)上の段の街並み 11)興禅寺 12)ふるさと体験館きそふくしま
13)開田高原(九蔵峠展望台を含む) 14)木曾馬の里 15)やまゆり荘 16)木曾駒高原
17)日義・木曾駒高原道の駅 18)彩葉館 19)道の駅三岳 20)御嶽山
21)寝覚の床 22)定勝寺 23)赤沢自然休養林 24)道の駅大桑(木楽舎)
25)フォレスパ木曾 26)桃介橋 27)妻籠宿 28)馬籠宿(藤村記念館)
29)その他()

Q11 どこで現在地(木曽福島, 開田高原, または日義道の駅)の情報を集めましたか(3つまで)

- 1)ここに来てはじめて知った 2)口コミ 3)ガイドブック 4)観光パンフ 5)道沿いの看板
6)新聞・チラシ 7)インターネット 8)テレビ・ラジオ 9)以前来た 10)その他()

Q12 今後この地域のどんな地域情報がほしいですか(3つまで選んでください)

- 1)温泉施設 2)自然にふれあえる場所 3)食事の楽しめる場所 4)季節のイベントや催し
5)農産物直売所 6)地元民との交流 7)空き家(移住)情報 8)ドライブコース・道路
9)その他() 10)必要ない 11)わからない

Q13a 今回の旅行で(旅費, 宿泊費を除く)予算は1人当たり大体いくらですか

- 1)5千円未満 2)5千円~1万円未満 3)1万円~1万5千円未満
4)1万5千円~2万円未満 5)2万円以上

Q13b そのうち, お土産代はいくらくらいですか

- 1)2千円未満 2)2千円~4千円未満 3)4千円~6千円未満
4)6千円~8千円未満 5)8千円~1万円未満6)1万円以上

Q14a お土産に何を買いましたか()

Q14b お土産にどんなものを探していますか()

Q14c おみやげの製造元(どこで製造されたか)を調べた上で買いますか

- 1)はい 2)いいえ 理由()

Q15a この地域で食べたもので, 何がおいしかったですか(5つまで選んでください)

- 1)とうじそば 2)すんきそば 3)イワナ天井 4)木曽牛コロッケ
5)エゴマの五平もち 6)きのこ鍋 7)ますの押し寿司 8)五穀ラーメン
9)雑穀もち・だんご 10)赤カブ漬け 11)とうもろこし 12)おんたけ白菜
13)アイスクリーム 14)栗こもち 15)ほおば巻き 16)そばまんじゅう
16)その他()

Q15b この地域で, ほかにどんなもの(どんな食材を使った料理)を食べてみたいですか?

()

Q16 木曽路の印象はいかがですか

- 1)良かった 2)普通 3)良くなかった(期待はずれ)→理由()

Q17 あなたは, また現在地(木曽福島, 開田高原, または日義道の駅)に来たいと思いますか

- 1)ぜひ来たい 2)機会があれば来たい 3)どちらでもない 4)あまり来たくない
5)二度と来ない

Q18 「日本で最も美しい村連合」をご存じですか

- 1)知っている 2)知らなかった (現在, 全国で45町村, 長野県では7町村が参加しています)

ご協力ありがとうございました.